

## 一般質問

# 市の明日を考える!

3月定例会の一般質問は、3月7日から10日の4日間にわたり16人の議員が登場し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を掲載します。

[発言順]

### 安 齋 政 保

[市 政 会]



- ①新学習指導要領について
- ②温泉利用券について

#### 問

- ①外国語導入に対する指導について、小学生の学習内容も変わり、5・6年生には、新しく外国語として英語教育が導入されるが、生徒、保護者の不安も多いと聞いている。英語教育の授業内容について何う。
- ②①対象者人数は何人か。  
②対象施設はどこまでか。使用出来る範囲は。  
③名目津温泉での使用について

#### 答

- ①英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を養い、日常的な挨拶など、身近に言葉を使えるようにすることが目的。指導は担任が行い、市としても「外国語活動講師派遣事業」を立ち上げ、各校に割り当てた日に講師を派遣する。
- ②①平成23年度で12,649人。  
②市内経済の活性化を図ることを目的に市内施設に限定する。  
③温泉利用券を使用できるよう、準備を進めたいと考えている。

### 熊 田 義 春

[市 政 会]



- ①旧原瀬小学校体育室について
- ②公共施設について

#### 問

- ①今後の管理運営について
- ②文化センター体育室及び石井体育館のバスケットリングについて、高さ調整ができるリングに整備できないか何う。

#### 答

- ①昭和36年3月建築の平屋で、建築面積410㎡の建物であり、築後50年が経過し老朽化が進み、現在は閉鎖している状況である。今後、財政計画の中に組み入れ、解体、撤去していく。
- ②文化センター体育室は昭和47年、石井体育館は昭和61年に建設された古い施設である。長期総合計画に基づき、計画的な改修、修繕は、利用状況などを見極めながら検討していく。

## 深谷 勇吉

[真誠会]



- ① 河川の環境整備について  
(特に六角川、鯉川)
- ② 障がい者の将来について  
(療育手帳所持者)

### 問

- ① ①旧市内の河川周辺は、公共下水道が整備されているが、普及率はどのくらいなのか。
- ② 堆積している汚れた土砂の撤去について、市は管理者である県に対してどのような働きかけをしているのか。
- ② ①保護者に不幸があり、面倒を見られなくなった時に、どのような対応をしているのか。
- ② 市独自に、集団で生活をする施設の設置は考えられないか。

### 答

- ① ①六角川周辺地区では、49.7%、鯉川周辺地区では71.9%であり、接続推進に努めている。
- ② 二本松土木事務所に対して撤去の要望をしている。
- ② ①保護者以外の親族がいない、親族がいても対応ができない場合、相談支援事業所と連携をとり、施設入所や居住の確保に努めている。
- ② 経費負担の問題、経営のノウハウ等、総合的に考えても困難である。

## 高橋 正弘

[あぶくま会]



- ① 市民との協同による地域づくり支援制度について
- ② 企業誘致と雇用対策について

### 問

- ① ①二本松市全域としないで住民センター単位とする理由は。
- ② 行政区、団体等のどのような事業でも可能なのか。
- ② 企業誘致を人口増加策にどう生かすのか。

### 答

- ① ①地域に根ざした事業として運営発展させていくために、各住民センター単位に補助金の枠を設定し、人口規模にも配慮し、より規模の大きな事業にも対応できる旧市町単位の枠も設ける。
- ② 各団体等が豊富なノウハウを生かして、地域の発展や地域コミュニティを深める取り組みを提案願いたい。
- ② 働く場の提供は極めて重要であり、新たな工業団地の整備も含め、企業誘致に積極的に取り組む。

## 平栗 征雄

[市政刷新会議「創松未来」]



- ① 安達駅周辺整備事業について
- ② 安達地区グラウンド周辺整備について

### 問

- ① ①23年度の実施内容について
- ② 安達駅周辺の土質調査結果は。
- ③ ゴミ収集場所の移転について
- ② ①テニスコート解体のその後の状況について
- ② グラウンド周辺に1箇所外部水洗トイレの設置は。



駐車場として整備中のテニスコート

### 答

- ① ①整備区域内の幹線道路「南北線・東西線・駅東口連絡線」、既設市道の歩道整備等を計画する測量設計を実施していく。
- ② 土質調査は4箇所実施し、地上から約7mから11mで、安定した支持地盤を確認出来た。
- ③ 移転先は、実施計画の中で各行政区と協議する。
- ② ①駐車場として整備中である。
- ② 基本的には外部トイレ設置は考えていない。

## 安部 匡俊

[あぶくま会]



- ① 子ども手当に対する市の財源支出について
- ② スカイピアあだたらの整備計画について

### 問

- ① ①財源支出に対する市の考えは。  
②児童手当に切り替わる場合、手続きにかかる時間や経費は。  
③法案不成立の場合、出産祝金支給条例は元に戻すのか。
- ② ①23年度の修繕に対する計画と事業費について何う。  
②27年度までの整備費にける総額と、予想入客・収入額は。

### 答

- ① ①地方負担には反対。理由は、全額国庫負担としていた総選挙時のマニフェスト違反で、地方の参画なく意思反映されていない。  
②約3ヶ月、約200万円。  
③子育て支援として、子ども医療費助成の無料化拡大等により充実されてきた為、元に戻さない。
- ② ①休憩室増設、暖房設備、入口ロビースペース及び旧プールの天井等の修繕として概ね8,500万円。  
②合計約1億円弱。明確な予想数字は把握していない。

## 菅野 寿雄

[市政会]



- ① 有害獣対策について
- ② NPO法人設立支援事業について

### 問

- ① ①鳥獣保護区の変更について、県当局に対してどのような働きかけを行っているか。  
②農地流亡被害復旧支援について住民への周知方法と対象とする事業内容は。  
③有害鳥獣捕獲隊への予算額・事故補償の対応は。
- ② ①平成23年度に設立予定の団体は計画されているか。  
②法人設立支援のための普及啓発事業の内容は。

### 答

- ① ①平成23年度中に、保護区指定の見直しのための意見を県当局に提出したいと考えている。  
②農事組合長会議において周知を図る。業者発注の外、機械の貸借、オペレーター料も補助対象とする。  
③傷害保険の補償額100万円を、500万円に引き上げる。
- ② ①現時点では計画されていない。  
②パンフ・手引き作成の外、ホームページ掲出を予定。4月からは、法人設立認証等も市の業務として処理できることになる。

## 堀 籠 新一

[真誠会]



- ① 介護施設の現状と今後について
- ② 第5次高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画について

### 問

- ① 市内の特別養護老人ホームの施設での介護について何う。  
①入所希望者の人数について  
②入所希望者の待機期間について  
③入所決定までの要綱について  
④特別養護老人ホームの今後の施設整備計画について
- ② 第4期介護保険事業計画について  
①通所リハビリテーションは。  
②認知症対応型通所介護施設は。  
③小規模多機能型居宅介護施設は。  
④地域密着型介護老人福祉施設は。

### 答

- ① ①市内4特別養護老人ホームへの入所希望者数は396人。  
②平均2~3年、最長10年7ヶ月。  
③県や安達地方で決めた基準や指針に基づき、また、家庭事情などを考慮し入所順位を決めている。  
④施設整備については、平成23年度に高齢者福祉計画等策定委員会において十分に検討する。
- ② 新年度に①、②、③施設を安達地域油井地区に整備する計画がある。④は、医療法人での整備計画は法律改正が進まず施設開設の辞退届出があった。

## 平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



- ① 地域包括支援センター職員の充実について
- ② 国保の広域化により子どもの医療費無料化の影響について

### 問

- ① 急速な高齢化が進むなかで、高齢者のすべての問題を解決する仕事を担っている地域包括支援センターの役割は重要であり、人的配置をしっかりと行い、必要に応えられるよう職員を充実させるべきでは。
- ② 国保の問題が広域化によって県に移れば1人ひとりの市民の状況とは関係なしに国保税が取立てされ、市議会の議論もなくなる。そこで、市独自の施策、例えば子どもの医療費の無料化などへの影響について伺う。

### 答

- ① 二本松市の地域包括支援センターは国の定めた基準を満たしており、高齢者の急激な増加、要支援・要介護認定者の増加に対し、平成23年度策定する次期介護保険事業計画で、高齢者支援の中核としての地域包括支援センターのあり方、人員配置等について協議したい。
- ② これらの施策は一般財源で単独で実施している事業であり、国保の運営とは関係なく、仮に、広域化された場合でも引き続き継続する。

## 菅 野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 市民福祉の向上について
- ② 農業振興について

### 問

- ① ① 歯列矯正などは保険適用外で負担が大変、保険適用となるよう国に働きかけを。  
② 地デジ放送の完全移行に対して、国民、市民の準備が整っていない。アナログ放送の打ち切り延期を国に求めるべき。
- ② 新規就農者支援事業が新年度から始まるが、継続して取り組むことが大事である。3年程度を支援期間としては。

### 答

- ① ① 市民が安心して良質な歯科医療が受けられるよう、市長会等を通じ国に働きかける。  
② 国のプロジェクトとして進められてきたので、アナログ放送打ち切りは後戻りできないと考えている。市内「難視区域」への支援、低所得世帯等へのチューナー無償交付など、デジタル移行後も存続の見込でありPRに努める。
- ② 今年度限りということではなく、次年度以降も継続する。

## 中 田 涼 介

[真 誠 会]



- ① 市営住宅の現状認識について
- ② 借上住宅事業に対する市の考え方について

### 問

- ① 市営住宅の現状認識と老朽住宅に対する今後の市の考えを伺う。
- ② 平成18年度、19年度の2ヶ年だけ借上住宅整備事業を実施しているが、今後の計画について伺う。

### 答

- ① 市内の市営住宅については、半数が耐用年数を超過し老朽化が進んでいることから、早急な建替計画を策定し、着手することが必要であると考えている。
- ② 今後の借上住宅事業については、新築や既存民間住宅の借上も視野に入れ、建替事業と長期間の投資費用の両面を検証しながら総合的に検討していく。

## 小林 均

[公明党]



- ①本市の新年度予算について
- ②支えあう地域社会づくりについて

### 問

- ①①法人税減免の影響について
- ②子供手当の地方負担分について
- ③行革の取組と地方税減税の考え。
- ②①民生委員が活動しやすい環境整備を行政がすべきと考えるが。
- ②地域包括支援センターのあり方、人員配置等の見直しについて
- ③地域福祉の戦力として、団塊世代のサポーター登録制度を。
- ④ボランティア活動へポイント制度の導入について
- ⑤買物弱者の実態とその対策は。
- ⑥妊婦、乳児家庭訪問の現状は。

### 答

- ①①460万4千円で、3.24%の減。
- ②国が全額負担すべきだが、市民の期待にこたえるため計上した。
- ③22年度まで累計57億円。合併・改革の効果を市の発展に再配分。
- ②①民生委員へ個人情報等の提供は必要。庁内協議・検討を進める。
- ②次期計画で協議し、相談窓口に。
- ③サポーター登録制度については、前向きに取り組んでいきたい。
- ④今後の研究課題としたい。
- ⑤実態把握はしていない。
- ⑥22年新生児427人中218人、51.1%。

## 斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- ①住宅リフォーム助成制度について

### 問

- ①①住民からも業者からも喜ばれ、全国約200自治体が実施している。今年度1千万円予算化されているが、リフォーム対象工事費50万円以上とした理由と対象額は引き下げるべきではないか。
- ②申請書の簡素化と施工業者の代行申請は。
- ③秋田、山形、宮城とともに福島県の制度として要望すべきでは。
- ④政府は、国の社会資本整備事業交付金事業として活用してほしいとしているができないか。

### 答

- ①①他の自治体を参考に住宅産業の活性化、波及効果を考慮して決めた。
- ②簡素化は必要と考えるが、必要最小限の書類と、施工業者の代行も認める。
- ③業界からの要望もあることから、他自治体の動きを見据えて考える。
- ④地域活性化を目的とした住宅リフォーム助成は、国の交付金事業では難しい。

## 佐藤 源市

[あぶくま会]



- ①身体障がい者福祉対策について
- ②海外資本による土地の取得について

### 問

- ①①医療費負担の現状と今後の支援について伺う。
- ②障がい者団体の育成と今後の支援について伺う。
- ③福祉施設の現状と今後の対応について伺う。
- ②土地取得の現状と水資源の枯渇、水質悪化環境保全対策について伺う。



身障者施設

### 答

- ①①精神障害者2・3級、身体障害者療育手帳保持者でない1割負担に対する助成がない。
- ②知的障害者、県身体障害者福祉協会、体育大会運営補助を行う。
- ③自立に必要な通所入所合わせて15施設があり、民間からの新たな施設整備、既存施設の定員増に伴う増設に対し支援する。
- ②本市の海外資本は無い。外国資本が森林を買収する動きがある現状を受け、土地取得規制の法制化を国に働きかける。

## 本 多 勝 実

[市政刷新会議「創松未来」]



- ① 重点施策の実施に伴う財政運営について
- ② 出産祝金の見直しについて

### 問

- ① 23年度の重点施策や長期総合計画などに大規模事業が数多く掲げられているが、将来の財政運営等に悪影響は無いのか。
- ② 市長公約からスタートした出産祝金を見直すこととした背景と、祝金を1万円とした根拠は。



### 答

- ① 市政改革の推進により財政基盤を整え、最小の経費で最大の効果を発揮すべく、スクラップ・アンド・ビルドの考え方を徹底し、限られた財源を有効に活用して施策の重点化に配慮しつつ、事業を実施してまいります。
- ② 国に先駆けて実施してきた本市の出産祝金については、子育て支援施策として国に引き継がれたものと判断した。祝金の額については、世間一般的に1万円が相場と考えて決めたものである。

## 新 野 洋

[市政刷新会議「創松未来」]



- ① 23年度人事について
- ② 農業の六次化と食を生かした地域活性化について

### 問

- ① 23年度人事における市長の基本的な考え方を伺う。また、自治体間競争に負けないように、総合政策プロデューサーとなりうる、優秀な人材確保のために、副市長を全国公募する考えはないか。
- ② 六次化に向けて農産物のブランド化、他産地との差別化、商品化についての取り組みと、地元の食材を使ったB級グルメの開発や、経済波及効果の大きいB-1グランプリ出場等への仕掛けづくりをしていく考えはないか。

### 答

- ① 限られた人員で効率的に業務を遂行するため、幅広い視野と専門性を併せ持った人材育成を進め、適材適所を基本とする。副市長は現時点では公募する考えはない。今後、総合的に判断する。
- ② 農産物を活かした事業の多角化、高度化を目指した加工販売については、支援のあり方について協議していく。新しいグルメの開発やB級グルメレシピの募集等を実施し、B-1グランプリ出場等へ繋がる事業となるように努める。

## 議 会 傍 聴

3月定例会第3日の3月8日に新殿地区老人クラブ連絡協議会の皆さん19名が議会傍聴に訪れました。

当日は一般質問のため活気のある討論が展開され、皆さん真剣に聞き入っていました。

是非、議会傍聴においでください。

